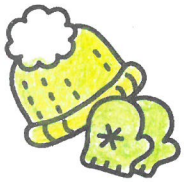
わたぼうし つうしん

令和 3年12月号
（No. 246 ）

わたぼうし
病児保育室
塚田こども医院
（保育室専用電話）
025-544-7779



今年もあと1ヵ月になりました。

わたぼうしの1年を振り返ると、今年は20周年、節目の年でした。利用者減少が続いていた前半。そこから急にやってきたRSウィルスの大流行があり7月のお預かりは570名中271名がRSでのご利用でした。記憶に残る夏になりました。そこを経ての増築工事。またいつか何らかの感染症が大流行した時に備えて…増築のパワーアップは完了しました!!

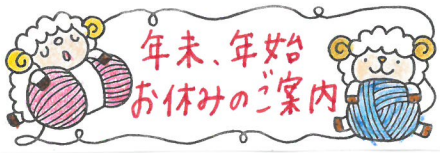
太陽の日差しがさし込み、明るいお部屋ですね。そんなお部屋で保育するのが楽しみです。

このところ急に寒くなり、厳しい冬の季節がやってきました。風邪ひきさんや胃腸炎が増えています。体調に気をつけてください。

そんな中であったかくなるニュースです！　当施設の拡張工事が終わり、使いやすい別棟ができました。

定員を25名から35名に増加。より多くの病児をお預かりできることになりました。

開設から21年目になりますが、また大きくなった「わたぼうし」にご期待ください。　（院長）



12月29日（水）～1月3日（月）までわたぼうしはお休みをいただきます。

新年は1月4日（火）より通常どおり開室しますので、よろしくお願い致します。

ある日のわたぼうし

久しぶりのご利用のRちゃん 6歳♡

お熱でわたぼうしでした。昼食中、「お熱あるから無理しないで大丈夫だよ～!!」と声をかけると、「お熱勝手にでてきたんだよ～!!」とちょっぴり不満気に一言。Rちゃんの言う通り!!お熱っていつだって断りなしにくるよね。

子どもたちの発言や仕草など、日々笑いや癒しをもらっています心

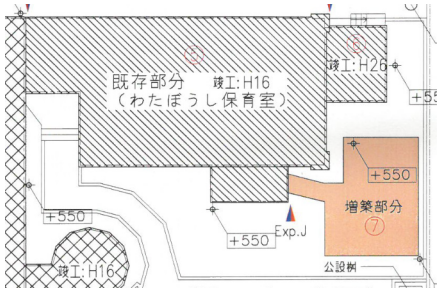
先月のまとめ

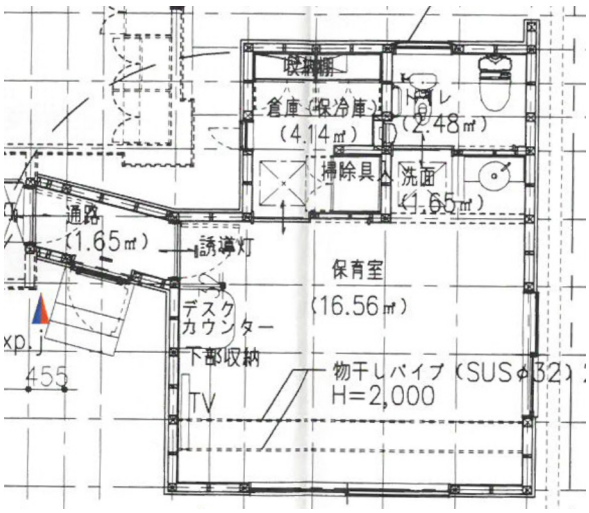
利用者数（20日間）195 名 《一日あたり2～23名》
（うち上越市病児保育事業対象 195 名） 《平均 9.8 名》
現在の登録者数 1299 名

入室初日の病状：急性期 95 件、回復期 43 件

感冒	水痘	湿疹
感染性胃腸炎	周期性発熱	ヘルパンギーナ
喘息性気管支炎	胃腸炎	突発性発疹
アデノウィルス感染症	下痢症	
感冒性下痢症	腹痛症	

わたぼうし増築完了！　定員を25名から35名へ





この度、わたぼうし病児保育室の増築工事が完了し、さっそく12月１日利用開始となりました。

床面積は既存部分102.7平方ﾒｰﾄﾙ、増築部分26.6平方ﾒｰﾄﾙ。合わせて129.3平方ﾒｰﾄﾙとなり、1.26倍に増加しました。

2001年の病児保育室開設当初は医院２階の空きスペースを利用していましたが、利用者の増加にともない2004年に園舎を新設しました。その後増築を１回行っています。

今年６月に開設20周年を迎えましたが、ちょうどその頃にＲＳウイルス感染症の大流行などにより、利用者が急増。園舎が手狭になるという事態になりました。

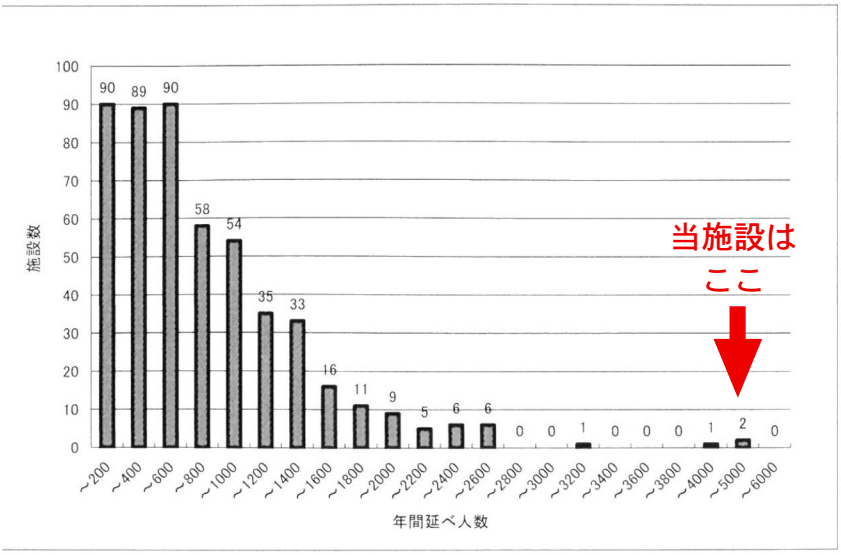
当院は「断らない」という方針で運営してきましたが、受入機能をさらに拡充する必要があると考え、今回の増築を決定。さっそく工事を発注し、短い工期でしたが、業者さんの努力により早期の完成にこぎ着けました。

増築部分は渡り廊下の先に、独立した園舎になっています。メインは10畳の保育室ですが、トイレ（２基）、洗面所を設置。倉庫はエアコンを設備し、夏場は保冷庫（弁当などを収納）としても使えます。床暖房、エアコンを完備。換気装置は大型のシステムを使っています。２面の大きな窓からは日差しが差し込み、過ごし易い作りになっています。

多目的に利用するように設計してあります。隔離用に使ったり、大きなお子さんが静かに過ごす部屋としても使えそうです。その時々の状況で、フレキシブルに利用できるのも良い点です。

床面積の増加にともない、当施設の定員をこれまでの25名から35名に増やしました。これまで以上に力強く、地域の子育てを支援できるものと思います。

全国集計から・・利用数は全国２位！



年間利用人数と施設数

（全国病児保育協議会資料より）

2019年度（2019年４月～2020年３月）の全国集計が公表されました。年間の利用者数は当施設は4034人でした。最多の施設（東京）が4592人。4000人以上の施設は２つだけですので、当施設は全国で２番目に利用者数が多いことになります。

このグラフを見ていただくと、大半の施設の利用者数は百人台で、1000人以下が全体の８割です。数千人というのは大規模であり、全国でも数えるくらいしかないということが分かります。

この次の2020年度は、新型コロナ禍で利用者数が激減しましたが、今年度はまた利用者数が増加傾向です。引き続き「断らない」を原則方針として運営していきます。